



保護者の皆様へ



後援会会長
高橋 博

後援会会報の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、コロナ禍により何かと不自由な経験をなされたものと推察いたしますが、本年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法での位置づけが5類に移行し、原則季節性インフルエンザと同様の取扱いとなり、長期間に及んだ行動制限等が解除されることとなりました。

毎回申し上げておりますが、後援会は大学と家庭の連絡を密にし、宮城学院女子大学大学院、女子大学発展の為に後援することを目的としております。

本会は上記の目的を達成するため、保護者の皆様からご協力いただきました貴重な財源を基に学生と大学に対して種々の助成を行っております。

今年度は5月27日に後援会総会を開催し事業計画や収支予算を承認していただきました。

尚、当日は総会に先立ちまして音楽科によるミニコンサートが開催され、パイプオルガン及び音楽科・研究生によるトランペット、ピアノの演奏をお聴きいただき素晴らしいひと時を過ごすことが出来ました。また、昼食は食品栄養学科の学生がメニューを考案したお弁当をお配りし、大変ご好評をいただきました。

総会終了後には学生部長およびキャリア支援部長より、学生生活やキャリア支援に関する報告、「学長賞」受賞者による成果発表が行われ、それぞれに高評価を得ることができました。

さらには、残念ながら青森での開催は叶いませんでしたが、福島・岩手・山形・秋田の4地区で地区後援会を開催することが出来ました。地区後援会は、宮城県外にお住いの保護者の皆様との情報の共有と連携を保つことを目的としております。学長をはじめ多くの大学関係者が出席し、直接対話ができる絶好の機会であり、参加された保護者の皆様からは「満足」との評価をいただいております。総会並びに地区後援会により多くの保護者の皆様に気軽にご参加いただきたいと思っております。

後援会として、学生の皆さんが充実した学生生活をおくることで貴重な4年間を過ごせるように、且つ大学が益々発展することを頭に活動してまいりますので、保護者の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

結びに、保護者の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。



学長
長谷部 弘

2023年4月に学長職を拝命し、宮城学院女子大学(以下MGUと略称)の管理運営の働きをさせていただいております。昨年来のポスト・コロナへの動きを受け、5月のコロナウイルス感染症5類移行を機に本格化した社会的諸制限の解除の動きは、MGUの教学活動や学友会活動を一挙に本格化させました。すべての活動が一斉にコロナ前の状態への復帰を目指して動き始め、コロナ流行がなかったかのように変化しました。この現実の激変ぶりには随分と驚かされた次第です。

そんな中でMGU後援会の活動が、5月末の対面総会の実施によって平常化したことは、やはり特筆すべきことです。役員の方々と親しい交流はもちろん、8月から9月にかけて岩手、福島、山形、秋田等で開催した地区後援会での保護者の方々と交流は、まことに感謝すべき経験でした。お嬢様方を通して下さっている保護者の方々と直接懇談させていただき、本学に対するご意見やご要望を頂戴できたか

らです。大学の管理運営の働きにとってかけがえのない宝物だと思っています。

そもそも本学は、キリスト教の福音を建学の精神として掲げ、女性が自立して生きていくための女子教育を使命とする私立大学です。後援会の皆様のご支援なしには教学活動はもとより大学経営それ自体が成り立たない独特の事業組織です。本学で学んでくださっている学生の皆さんに、各分野で高い水準の研究能力を持つ教師陣による豊かな専門教育及びそれを支える教養教育を受けていただき、社会人として活躍するためのスキルや能力を着実に高めていただく。本学の事業目的はそれにつきまします。後援会から頂いている、施設設備や環境整備のための助成、教育研究活動のための助成、国際交流活動のための助成、学友会の活動のための助成、奨学金充実のための助成、広報文化活動のための助成など、実に多方面にわたる様々な助成は、その働きにとって本当に感謝すべきものです。

総会、地区後援会では、参加して下さった多くの保護者の方々に、本学の教学活動とキャリア支援活動の現実を見ていただき、MGUで学ばせて良かった、という認識を持っていただけた点が何より嬉しいことでした。今後も積極的に後援会の活動を推進させて頂くことによって、大学と保護者の皆さんと一緒に学生として大学生活を送っている皆さんの成長と社会人になるための準備のサポートをしていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いたします。



キャンパスレポート Campus Report

2023大学祭が 開催されました

2023年度大学祭「YOLO～You Only Live Once」(人生一度きり)が、10月14日(土)から15日(日)にかけて開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症による制限を撤廃し、4年ぶりの通常開催となりました。

1日目は快晴に恵まれ、中庭ステージでは各サークルやパフォーマンスを披露し、各教室や小ホールでは各出展団体が趣向を凝らした催し物を実施し、大いに盛り上がった初日となりました。

2日目はあいにくの雨天となったものの、中庭で実施する予定だったステージ企画を体育館で実施するなど、初日に負けない賑わいを見せてくれました。大学祭実行委員会企画のお笑いライブではいまだ見られなかったほどの大盛況となり、最後に大学祭フィナーレの花火が大輪の花を咲かせると観客やスタッフからは大きな歓声があり、花火の余韻に包まれる中、今年度の大学祭は無事に終了しました。

みなさまのご支援により成功裡に大学祭を開催できましたことをこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

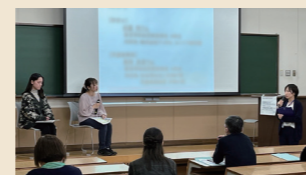


「誰一人取り残さない」MGUの就職支援

今年も、11/4(土)に2023年度「保護者のための就職支援セミナー」を開催いたしました。昨年から再開しました対面開催と、当日のメイン企画である全体セミナーを録画した動画を、オンデマンド配信する形式です。

全体セミナーでは「内定が出る学生の特徴について」と題して、株式会社アフターリクルーティング 代表取締役 池谷昌之氏にご講演いただきました。昨年もコロナ禍で大きく変わった新卒学生の就職活動について解説をしていただきましたが、今回は更に昨今の学生の考え方や特徴を踏まえて、保護者の皆様にごどのような距離感でお嬢様の就活を見守って欲しいか、などについてもお話しいただきました。

後半のジュニアアドバイザー(内定を得た4年生)のインタビューで



は、一般企業・管理栄養士・保育士/児童指導員・教員の4教室に分かれて、具体的にいつぐらいの時期から、どのような準備をしたか、また、保護者ごとのような会話を交わしたかなどについて話してもらいました。今回は時期的に、公務員に内定したジュニアアドバイザーが間に合わず残念でしたが、教員採用試験の結果は間に合いましたので、中高(国語・家庭科)の体験を語ってもらうことができました。

なお、ジュニアアドバイザーのインタビューは、個人的な内容が含まれておりますため、オンデマンド配信は行っておりません。この企画は毎年11月の第一土曜日を予定しております。どうぞ来年は秋も深まる美しいキャンパスの本学にお越しくださいますと幸いです。

学生インタビューの後は、ご希望の方の個別相談を承りました。



宮城学院女子大学後援会事務局(大学事務部庶務課内)

〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1

TEL 022-279-4698 FAX 022-279-7566 E-mail syomu@mgu.ac.jp

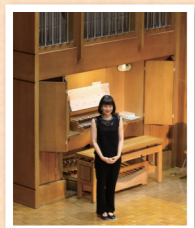
2023年度 大学後援会総会

大学後援会総会は、年1回保護者の方々に向けて大学の取り組みを紹介する機会として開催しています。

2023年5月27日(土)、本学キャンパスを会場に2023年度大学後援会総会が開催され、約100名の保護者の方々にご参加いただきました。



音楽科によるミニコンサートで幕を開け、礼拝堂にてステンドグラスと音楽の空間をお楽しみいただきました。音楽科4年生によるトランペット独奏、音楽科研究生によるピアノ独奏のほか、本学オルガニスト・小野なおみ氏によるパイプオルガンの演奏が披露されました。



昼食には、食品栄養学科の学生がプロデュースしたお弁当をお配りいたしました。栄養バランスと味、そして食品ロスの減少を意識した献立メニューは、多くの皆様にご好評をいただくことができました。

総会は、高橋博会長による開会挨拶のあと、今年度就任した長谷部弘学長による挨拶、2022年度事業報告および収支決算報告、2022年度会計監査報告、2023年度事業計画(案)および収支予算(案)ならびに役員を選任を審議し、すべて承認されました。



総会後は、木野和代学生部長(心理行動科学科教授)による学生生活に関する報告、丹野久美子キャリア支援部長(食品栄養学科准教授)によるキャリア支援に関する報告を行い、普段の学生の活動の様子をご紹介いたしました。

引き続き、学長賞を受賞した学生による成果発表を行いました。「学長賞」は、勉学、各種活動や就職活動の励みとなることを期待することを目的として2018年度に創設され、他の学生の模範となる学生を学長賞表彰式等の公的な場で功績を表彰しています。今回は、現代ビジネス学科の2つのゼミ生が受賞し、仙台市との連携による観光コースプランや東北の地場に根差した食文化を多くの皆様にご紹介いただきました。保護者の皆様には、直接学生の活動をご覧いただく機会となり、温かく見守っていただきました。



学科別クラス懇談では各会場にわかれ、学修内容や学生生活などについて、保護者の皆様と学科の教員が和やかに懇談する様子が印象的でした。就職個別相談では、就職活動のスケジュールや家庭でのサポートなどについての質問があり、新卒採用を取り巻く変化について職員よりご説明いたしました。

このように、大学後援会総会と関連イベントは、例年5月下旬に開催しております。今年度ご参加いただいた皆様よりお寄せいただいたアンケートをもとに、来年度もさらにご満足いただけるよう企画してまいります。たくさんの方にご参加いただければ幸いです。



【大学後援会総会参加者の声】参加者アンケートから抜粋

総会・関連イベント全般

- ・コロナも落ち着き、大学祭等で広く地域と交流できると良いと思う。
- ・人間力を高める教育に努めている様子がわかり安心しました。
- ・食品栄養学科の学生プロデュースのお弁当が良く、とてもおいしかった。

音楽科ミニコンサート

- ・パイプオルガンの響きに感動しました。
- ・演奏者と音楽が共鳴しているようで、もっと聴いていたかったです。

学生部報告・キャリア支援部報告

- ・子供の話だけでは分からない学生生活を知ることができてよかったです。
- ・“キャリア教育”にとっても興味を持ちました。

学長賞受賞者による成果発表

- ・プレゼンテーションが大変上手でした。学生の活躍に期待します。
- ・社会貢献活動の様子がわかり、これからは楽しみです。

学科別クラス懇談、就職個別相談

- ・学科の先生方から資格や就職の話聞いて良かった。
- ・質問に丁寧な回答をいただいて満足です。

2023年度

地区後援会

地区後援会は、本学キャンパスを会場に行われる後援会総会へ出席いただけなかった県外にお住いの保護者の皆様と、懇談を交えながら大学の情報を共有し、緊密な連携を保つ機会を設けることを目的で開催しています。

2023年度の地区後援会を東北地区の各会場(8/19 福島市、8/20 盛岡市、8/27 山形市、9/3 秋田市)で開催しました。

第一部では、大学後援会会長の開会挨拶、学長挨拶をはじめ、大学後援会役員による後援会活動報告、副学長による本学の近況報告、就職支援担当から本学の就職状況についての説明を行いました。続いて、在学生による就職活動体験談をインタビュー形式でご紹介しました。大学での学びからご家族との関わり方に至るまで、学生自らが話しする就職活動にまつわる学生生活の様子を、保護者の皆様には大変関心を高くご好評をいただきました。

第二部では学業や就職活動について、ご希望に応じて担当職員へ質問や相談をしていただく個別相談会を実施しました。アンケートでは、「参加してよかった」「大学が近く感じた」と温かいコメントをいただきました。

残念ながら青森地区に関しては、今年度も開催を見送りました。他4地区にご参加いただいた皆様には、心より御礼申し上げます。

来年度も今年度同様、東北5県すべての地区にて同時期の開催を予定しております。改めてご案内いたしますので、より多くの方にお越しいただけるよう心よりお待ちしております。

地区後援会参加者アンケートより

- ◆ 大学との距離感が縮まったように感じました。
- ◆ 就職活動の様子を学生自身の言葉で聞くことができて良かった。
- ◆ 同地区の保護者の方と交流でき、良い情報交換の機会になった。
- ◆ 仕事の都合で仙台へなかなか行くことができないので、地元での開催は大変助かります。

